

# ガイドライン

テンプレートは後半のページにあります。  
必ずガイドラインをご一読の上ご利用ください。



# 公式スライド

ガイドライン | テンプレート

2026.01.23 更新

# AGENDA

- 01 ガイドラインの目的
- 02 基本のガイドライン
- 03 提供パーツ

# 01 ガイドラインの目的

# ガイドラインの目的

このガイドラインは以下を目指して作成しています。

制作者目線としての  
作りやすさ

受け手目線としての  
見やすさ

また、CA公式のガイドラインを目指して、すべての人が「CAらしさ」を作るためのルールやテンプレートを用意しました。

## 非推奨とするケース

### 説明内容のすべてを記載しない

画面左の例のように、スライド内に文字がたくさん詰まっていると、聞き手は文字を読むことに集中し、話し手の話が耳に入ってこなくなります。そうした事態を避けるためにも、スライド内の文字数は少なくするべきでしょう。ポイントは、右の例のようになるべく見せる必要のない文字は削除し、必要なものは体言止めなどを活用して文章を単純化することです。

### ・ 情報過多

スライドには十分な余白をあけて、聞き手がスライド内容に集中できる文量でレイアウトしてください。

### 選ばれる理由

① 使いやすい

② 斬新なデザイン

③ 手ごろな価格

### ・ 視認性が悪い

ガイドラインで提供する色以外は使用するのを避け、読みやすいような色使いを心がけてください。またテンプレートの文字サイズを参考に作成してください。

### ・ 規定/著作権違反、confidential表記無しの社外秘情報展開

ロゴの規定や、使用素材の著作権に注意してください。社外秘の場合は原則confidentialの表記をお願いします。



## 02 基本のガイドライン

**わかりやすく統一感のあるスライドにするために、  
以下を定義しています**

- スライドの余白
- 推奨フォントと設定/スライド共有時の運用ルール
- テキストサイズと太さ
- テキストの行揃えと行間
- カラー



## スライドの余白

テキストや画像などを含めて  
上下の余白を十分にあげるようにしてください

## 推奨フォントと設定

フォント名	種別	対象文字	特徴・推奨理由
<b>M PLUS 1p</b>	日本語ゴシック体	和文（漢字、ひらがな、カタカナ）	<ul style="list-style-type: none"><li>・pptとの相互性を考慮した上でもっともCAらしいフォント</li><li>・テンプレートのメインフォントとして使用</li></ul>
<b>Arial</b>	欧文サンセリフ体	欧文のみのテキスト	<ul style="list-style-type: none"><li>・WindowsとMacの両方に標準搭載されており、環境依存によるレイアウト崩れのリスクを最小限に抑える</li></ul>

# 推奨フォントと設定


## 利用前の必須作業：M PLUS 1pのインストール

M PLUS 1p はOS標準搭載フォントではないため、PowerPointなどのデスクトップアプリケーションで使用する利用者全員に、以下の作業をお願いします。

### Google Fontsからダウンロード:

- ・ M PLUS 1pのフォントファイル（TTFまたはOTF）をダウンロードしてください。
- ・ ダウンロードしたファイルをPCにインストールしてください（通常、ファイルをダブルクリックして「インストール」を選択）。

### Googleスライドの場合:

- ・ フォントメニューの「その他のフォント」から「M PLUS 1p」を検索し、有効にしてください。
-  注意: M PLUS 1pがインストールされていない環境でPowerPointを開くと、日本語フォントが別のものに置き換わり、レイアウトが崩れます。

# スライド共有時の運用ルール

外部環境への公開やスライドシェアサービスへのアップロード時にフォント崩れを防ぐため、以下の手順を推奨します。

## 1. スライドシェアサービス (SpeakersDeck/SlideShareなど)へのアップロード

【最推奨】PDFを画像として書き出す：

プレゼンテーションソフトのPDF変換オプションで、テキストではなく画像としてPDFに埋め込む（または高解像度画像としてエクスポートする）設定を選択してください。

これにより、フォント情報ではなく画像情報としてスライドが扱われ、崩れのリスクがなくなります。

## 2. PowerPoint環境でのPDF出力（不安定性対策）

1. PowerPointでファイルを開く。
2. 「ファイル」タブから「印刷」を選択。
3. プリンター名で「Microsoft Print to PDF」（Windows）またはMacにインストールされている同等の仮想PDFプリンターを選択。
4. 印刷を実行し、PDFファイルとして保存する。

## テキストサイズと太さ

※あくまでも推奨サイズです。スライドデザインによってよしなに調整ください。

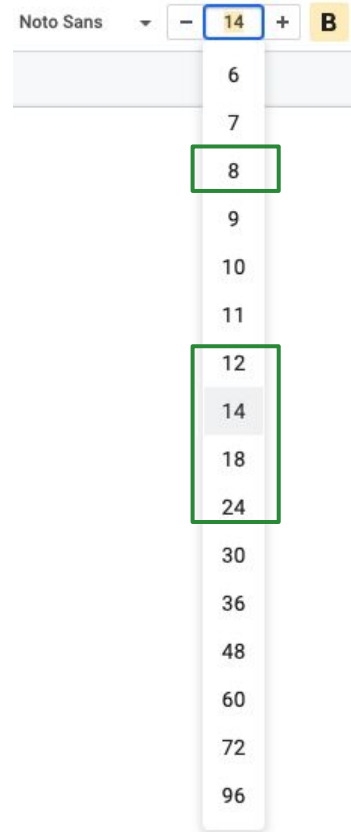
ワンセンテンス24pt 太字

大見出し18pt 太字

中見出し14pt 太字

文章12pt 標準

注釈8pt 標準



## テキストの行揃えと行間

- ・ 行間はGoogleスライドで作成する場合は基本的に**1.15行**を推奨します。

※ppt変換すると、行間が崩れる場合があります。お手数ですがよしなにご調整ください。

- ・ テキストは基本的に**左寄せ**を推奨します。  
中央寄せを使用するのは  
タイトルや短い文章の時のみ使用してください。

## 大見出し

- ・ 中見出しや要点を端的にまとめる**強調したいものがあれば緑文字**

補足文章などは細字で記載する

- ・ 中見出しや要点はなるべく1行に収める

補足文章は1行から3行程度に収める。

長くなりすぎる場合はスライド内に記載する文字と  
プレゼンで喋る内容とで分ける

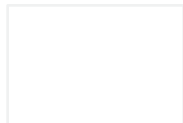
- ・ 中見出しや要点は多くても4~5個に収める

補足文章などは細字で記載する

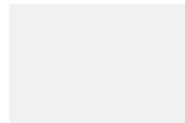
注釈などを記載する際は小さく表記する

# カラー

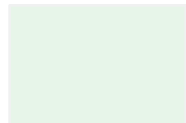
## 背景カラー



ホワイト  
#FFFFFF



グレー  
#F0F1F1



グリーン  
#E7F5E9

## アクセントカラー



ライトグリーン  
#82be28

## テキストカラー

Aa

ブラック  
#000000

Aa

グリーン  
#298737

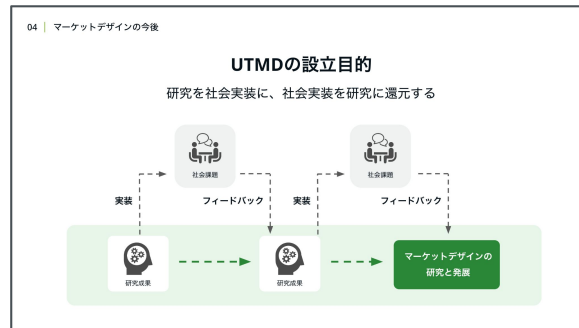
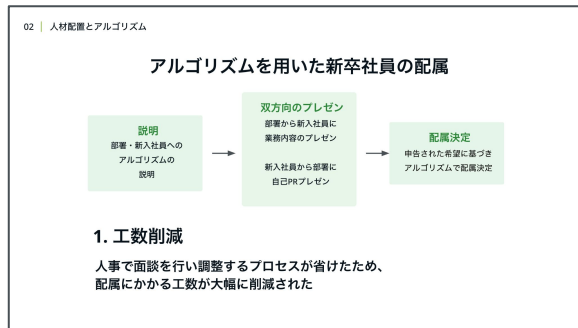
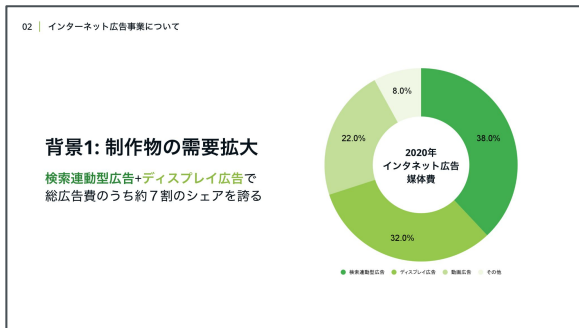
Aa

グレー  
#485055

※補足  
テキストカラーのグリーンについては、  
可読性を優先し、コーポレートカラーのグリーンから色を微調整しています。

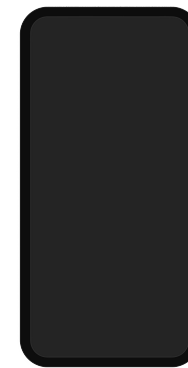
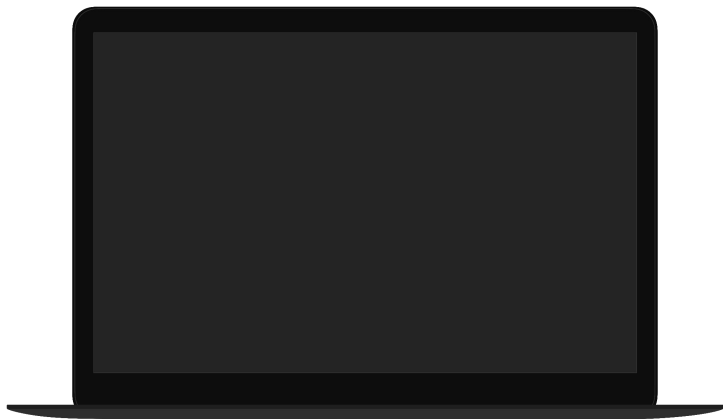
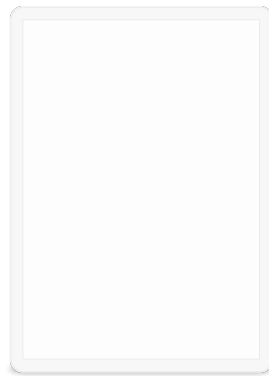
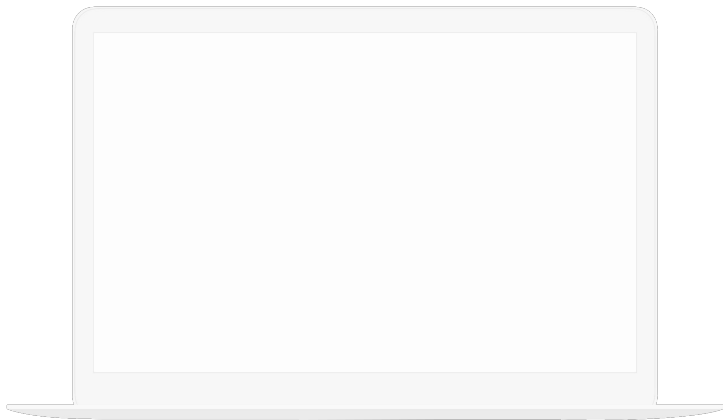


## 参考イメージ



色数を絞って、グリーンをベースにすることで  
統一感のある表現ができます

## 03 提供パーツ



# スライドテンプレート

以降ページをコピーしてご利用ください。

# タイトル2段の場合テキスト テキストテキスト

サブタイトル入力

2025.00.00

# タイトル1段の場合

サブタイトル入力

2025.00.00

# AGENDA

01 目次テキスト

02 目次テキスト

03 目次テキスト

04 目次テキスト

# 00 目次 Contents



画像

所属部署名

名前 名前

NAMAE NAMAE

経歴など記載

テキストテキストテキスト

テキストテキストテキスト

テキストテキストテキスト

テキストテキストテキスト









21世紀を代表する会社を創る



新しい力とインターネットで  
日本の閉塞感を打破する

# 新しい力とインターネットで 日本の閉塞感を打破する

あらゆる産業のデジタルシフトに貢献する

新しい未来のテレビ ABEMAを、いつでもどこでも繋がる社会インフラに

テクノロジーとクリエイティブの融合で世界に挑戦する

年功序列を排除し、21世紀型の日本的経営を体現する

時代の変化に適合し、グローバルカンパニーを目指す

インターネットを通じて日本を元気に

 CyberAgent. | Brand Concept

**Always** 

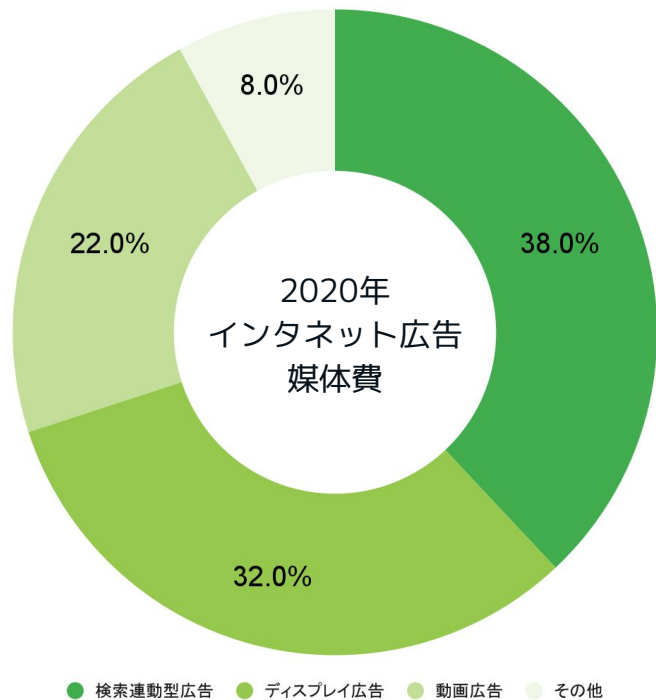


# 使用事例

コピーして使用する場合は、右上のSample表示を削除してください

## 背景1: 制作物の需要拡大

検索連動型広告+ディスプレイ広告で  
総広告費のうち約7割のシェアを誇る



# Conversion Webhook

CustomResource の API Version 追従の対応

スキーマの変更に伴い相互に変換を行う Webhook server

Kubernetes 内部ではどちらか一方の形式で保持

```
apiVersion:  
example.com/v1  
kind: CronJob  
annotations:  
example.com/suspend: true  
spec:  
schedule: "*/1 * * * *"
```

Conversion



```
apiVersion:  
example.com/v2  
kind: CronJob  
spec:  
schedule:  
minute: "*/1"  
hour: "*" "  
dayOfMonth: "*" "  
month: "*" "  
dayOfWeek: "*" "  
suspend: true
```

# Controllerの利用パターン

## ControllerがWatchするリソース

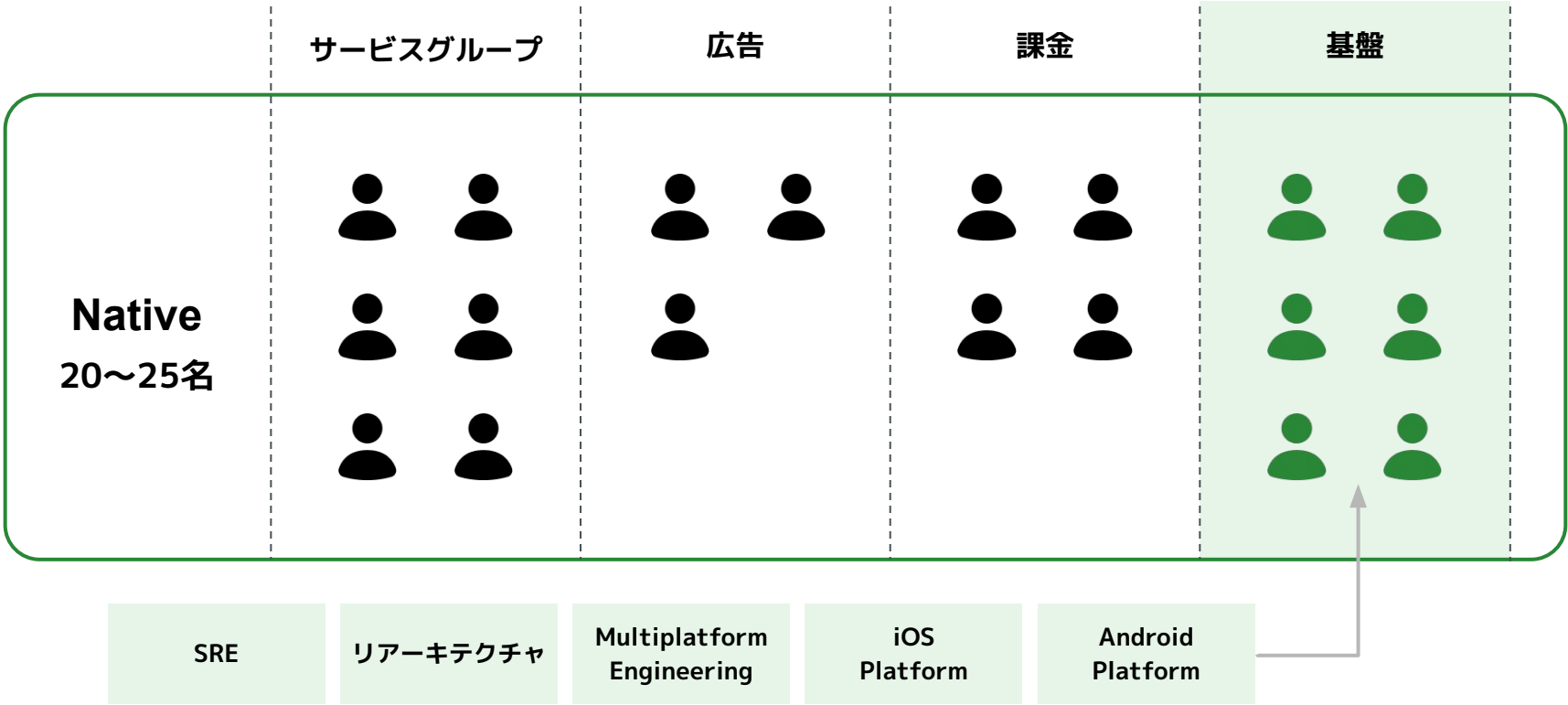
- ・ 新たに定義したCustomResource
- ・ 既存のCustomResource
- ・ Build-in Resource



## Controllerが操作する対象

- ・ Kubernetes Resource
- ・ 外部のシステム

# Teams



## ニューヨーク市の事例

従来は約10万人の生徒のうち**3万人**が  
提出していた志望リストに含まれない学校に進学

マッチングアルゴリズム導入による入試制度改革により志望リストをめぐる  
読み合いが不要に

志望リストに含まれない学校に進学する生徒が  
**3千人**に減少

# UTMDでレポート公開中



**UTMD**

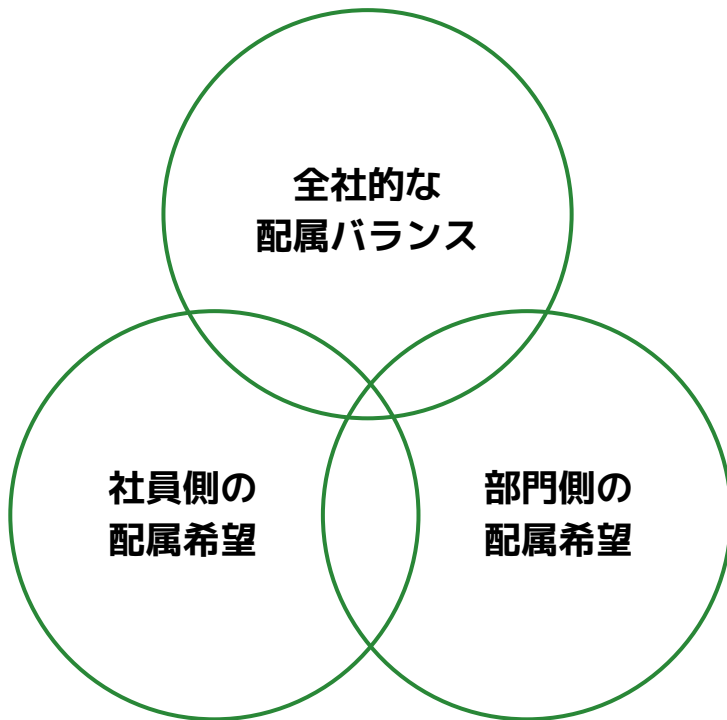
男女別定員 経済的弱者への配慮  
読み合いが合否を左右

**公立高校入試制度の  
再設計に向けた提言**

単願制が引き起こす不公平とその解決策

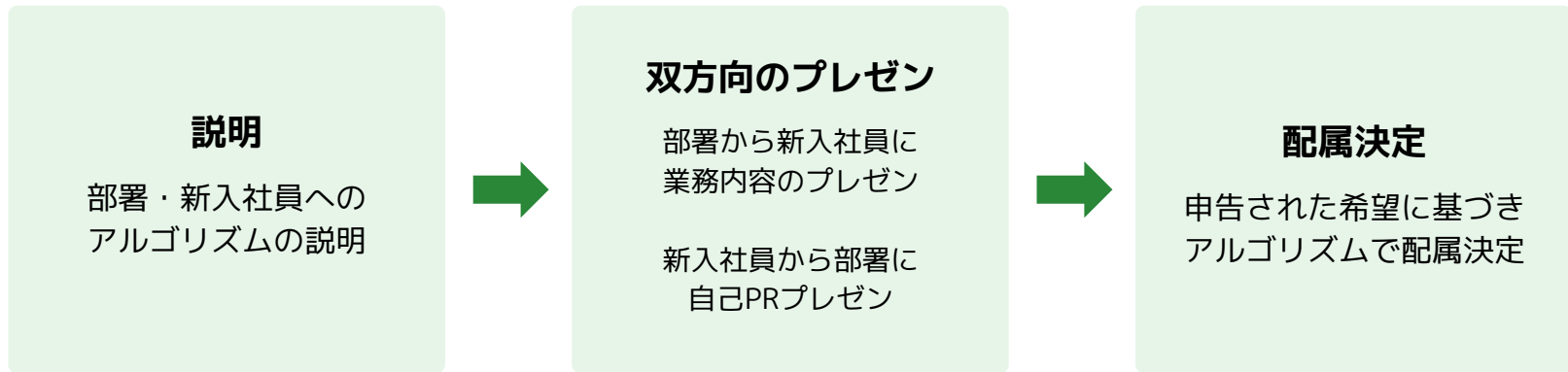
東京大学マーケットデザインセンター (UTMD)  
学校選択制検討チーム

# 人材配置とマッチング理論





## アルゴリズムを用いた新卒社員の配属



## 災害時の避難の実情

- ・ 要配慮者の平均避難回数は**7回**
- ・ 県外避難をした9箇所の高齢者福祉施設では平均して**例年の2.4倍**の人が一年間で亡くなっている
- ・ 避難しないという選択をした施設は例年通りの死亡率

相川 祐里奈『避難弱者—あの日、福島原発周辺の老人ホームで何が起きたのか?』より



## 災害時の避難とマッチング

様々な事情を抱える要配慮者の災害時避難について、  
受け入れる施設の特質も踏まえながら  
極力負担が少なくなるような仕組みを整える必要がある

# UTMDの設立目的

研究を社会実装に、社会実装を研究に還元する

